

**要望事項 (優先順位 3)**

花脊別所町内に新たに指定された避難所の適切な機能の確保

**要 旨**

花脊別所町は、人口約100名のうち、災害弱者と思われる70歳以上の高齢者世帯は18世帯32名にのぼります。そのほかにも、介護施設である「花友はなせ」の入所者は20名になります。

別所町内には、指定避難所の元別所小学校がありますが、土砂災害特別警戒区域内にあるため、土砂災害時には避難所としては使えません。そのため、5キロ北にある花脊小中学校に避難する必要がありましたが、遠くて危険な道路を歩いていかなければならないなど現実的ではありませんでした。

このため、別所町内で7月に新たに別所自治会館が避難所に指定され、土砂災害警戒警報が出された際でも、別所町内で避難できることになりましたが、現段階では適切に整備されているとはいえない状況です。

今後も予想される大規模災害に備えて、高齢者が体調を崩さずに適切な避難生活を別所自治会館で送れるよう、避難所としての環境整備に協力していただくよう要望いたします。

**回 答****(行財政局)**

避難所に指定された施設には、避難所運営資機材（非常用発電機、屋内用間仕切りテント等）を配備しており、別所自治会館についても、先日、配備が完了いたしました。

別所自治会館につきましては、土砂災害の危険から一時的に逃れていただくための「指定緊急避難場所」としての利用を基本とお考えいただいておりますが、食料や、毛布等の生活必需品についても、施設内に備蓄スペースが確保できれば、年度末に配備を行う予定としております。

**(左京区役所)**

別所自治振興会からの要望も踏まえ、土砂災害の危険が生じた際にも、住民が比較的迅速かつ安全に町内で避難できるよう、7月12日に別所自治会館を指定緊急避難場所及び指定避難所に指定いたしました。

災害時に避難所としての機能を適切に果たせるよう、8月には本市から避難所運営資機材を一式配備させていただいたところです。

避難所の環境整備につきましては、地元の思いや主体的な取組が実を結ぶよう、今後とも避難所として必要な物品の配備をはじめ、自主防災会とも連携のうえ、高齢者についても適切な避難所となるよう必要な協力をしてまいります。